

平成20年度「推進方針」決定！！

エネルギー研究開発拠点化推進会議を開催

去る11月11日「エネルギー研究開発拠点化計画」を着実かつ円滑に推進するため、産業界、事業者、大学・研究機関、国、県および市町村等の代表者が出席して、今年で3回目となる推進会議が開かれました。江守県経済団体連合会長の議長進行のもと、各機関から平成20年度の具体的施策について説明がなされた後、特に重要な3つの観点（人材育成の拠点、研究機能の集積、産業への貢献）から活発な議論が行われ、「広域の連携大学拠点の形成」など5つの重点施策を含む新たな「推進方針」が決定されました。詳細はエネ研のホームページに掲載しています。



開会の挨拶をする西川福井県知事

[会場]福井県若狭湾エネルギー研究センター

原子力産業への参入を目指す企業のための

三菱重工業(株) 品質保証説明・工場見学会を開催



神戸造船所（後方は熱交換器）



主催者の挨拶をする旭理事長



高砂製作所（タービン工場の大型プレス機前）

11月13日に三菱重工業株式会社の協力を得て、「品質保証説明・工場見学会」を開催したところ、福井県内の企業36社（46人）が参加しました。

これは、原子力産業への参入を目指している県内の企業に対して、去る7月30日に開催した「企業説明会」の第2ステップとして実施したものです。

三菱重工の神戸造船所では、蒸気発生器や炉内構造物、また高砂製作所では大型熱交換器や大型ポンプの製造現場を見学し、それぞれ担当者の方から丁寧な説明を受けました。参加者はそろって、「あんなにかい機械を精密に仕上げる技術にはびっくりした」と驚愕していました。

品質保証説明会では、原子力に関する「設備の品質重要度分類」や「品質保証要求事項」などについて説明を受け、参加者は原子力産業における厳しい品質保証について再認識していました。

産学官
連携

「実は福井」の技 in TOKYO

福井県が県内企業の優れたものづくり技術や製品を支援する事業「『実は福井』の技」が、11月21日に伊藤忠商事東京本社ビルにおいて開催されました。

出展した68の企業等は、新規取引先の開拓や受注機会の増大を図るため、訪れた東京近郊の各企業に対して真剣な提案・紹介を行いました。



開会のテープカット

エネ研も出展し研究成果を紹介

人材
育成

22回 日台原子力安全セミナー

このセミナーは、社団法人日本原子力産業協会が中心となって1986年以来、日本と台湾で交互に開催されているものです。今回は11月15、16日にエネ研で開催され、台湾からの代表団20名と我が国60名の参加者が、原子力発電所の耐震問題、原子力発電所の建設経験、放射性廃棄物問題をめぐる理解獲得活動、安全管理と安全文化などについて相互に発表、討論、質疑応答などを行ないました。

また同時に関西原子力懇談会が主催する「日華原子力連絡会議」も行われました。



日本側準備委員長として代表して挨拶する森本関西電力原子力事業本部長

エネ研の施設案内(300keV高分解能透過型電子顕微鏡)

産学官
連携

嶺南エネルギー技術フェア

12月1、2日の両日、今年で100周年を迎える敦賀商工会議所では実行委員会の主催で、エネルギー技術フェアを開催しました。嶺南初の技術フェアとなるこのイベントには、敦賀市民や企業など約7800名が、盛りだくさんのステージや展示・販売コーナーを訪れ、会場をにぎわせていました。

(会場: 敦賀市きらめきみなと館)



エネ研のブースにて 左)河瀬敦賀市長 右)ドクター中松氏



落語、講演、演奏、ロボットショーと多彩なイベントでした

人材
育成

青少年のための 科学の祭典

2007 福井大会

全国で開催される科学の祭典で、3年ぶり第5回目となる福井大会が11月23、24日の両日、県立児童科学館で開催されました。教員や生徒、大学・企業等による合計57の実験、工作などの体験コーナーが設けられ、小学生連れの家族など約8000名が科学の面白さを体験していました。



エネ研のブースでは元気良く動き回るゾウリムシやミミズなどを2種類の顕微鏡で観察してもらいました。

職員
異動

新任



エネルギー研究開発拠点化推進組織
産学官連携チーム マネージャー
中川祐司

12月から塚本と中川が交代します。

研究会事務局などを引き継ぎます。
よろしくお願いいたします。

退任



異動先 関西電力㈱
グループ経営推進本部 マネージャー
塚本宏生

この組織の結成当初から2年4ヶ月、
大変お世話になりました。